

西濃



少女(2)
無所属 林 ゆみ
(可児市皐ヶ丘)

大垣支局
〒503-0893
大垣市藤江町6-82-4
0584(78)2030
Fax(74)6460

養老通信局
0584(32)0699
Fax(32)2740

揖斐川通信部
0585(22)1150
Fax(22)0735

岐阜支社
〒500-8875
岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地
058(265)0191
Fax(262)8706
(販売)(265)0265
(広告)(266)4791
(事業)(265)0267

忘れられないおいしさーあ
かまぼこなら...
株式会社
かまぼこ

大垣の財団法人「井上国際交流基金」が寄贈

カンボジアの 小学校に第2校舎

カンボジアでの支援事業を続けている大垣市の財団法人「井上国際交流基金」は、同国北西部シェムリアップ州のクナートップチェイ小学校に第2校舎を寄贈した。子どもたちは「新しい教室が増えてうれしい」と笑顔を見せている。
(長永みづき)

同基金は、揖斐川工業(井上豊秋社長)や関連会社が出資して一九九七年に設立。井上社長が二〇〇九年にカンボジアを視察した際、教育支援の必要性を目的に始めたため支援を始めた。

約百八十人が通う同小学校の第一校舎は、一年に基金の寄付でできた。その後、三人だった教員が倍の六人に増えて職員室が必要となり、図書室や幼稚部用の教室も新設するため、新校舎建設の要望



教員(右側6人)と話し
合いをする基金職員ら

が出ていた。

新校舎は四月に建設を始めて先月中旬に完成し、鉄筋コンクリート平屋建てで三教室がある。第一校舎には靴置き場がなく校舎周りに靴が散乱していたため、第二校舎には靴置き場を設置。靴の整理整頓を学ぶという「日本式」も取り入れた。

先月十九日から二十三日にかけて、基金の代表理事でもある井上社長らが現地を訪れた際、小学校は第二校舎完成記念式典を開き、児童や地域の約百六十人が集まった。モイ・ミエン校長は「基金の継続した支援に深く感謝している。今回寄贈を受けた校舎も大切に使うと約束する」と語った。

基金の担当者は「カンボジアの人たちが支援に慣れて依存する体質にならないよう、突き放していると思われるかもしれないが、自分たちでできることはまず、自分たちで工夫してやってもらうようにしている」と話す。

校庭に柵がほしいと要望が出たときも、材料は用意したが作る作業は地域の人を中心にやってもらった。「タダでもらったものには思い入れがない。自立できるような手伝いをしたい」との思いがある。

井上国際交流基金は、今後も長期的にカンボジアの教育分野の支援を続けるという。

できることは自分で... 靴の整頓「日本式」

完成した新校舎の前で記念撮影をする児童と基金職員ら(いずれもカンボジアのクナートップチェイ小学校で(井上国際交流基金提供))

